

第1・2・3学年 技術科 学習案内

◎技術科の学習目標

「ものづくり」などの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工，エネルギー変換，生物育成及び情報に関する基礎的基本的な知識及び技術を習得する。また、技術と社会や環境との関連性についての理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

◎技術科では具体的に4つの専門的な技術を学びます。

A. 材料と加工に関する技術

- (1) 生活や産業の中で利用されている技術
- (2) 材料と加工法
- (3) 材料と加工に関する技術を利用した
製作品の設計・製作

C. エネルギー変換に関する技術

- (1) エネルギー変換機器の仕組みと保守点検
- (2) エネルギー変換に関する技術を活用した
製作品の設計・製作

B. 生物育成に関する技術

- (1) 生物の生育環境と育成技術
- (2) 生物育成に関する技術を利用した
栽培又は飼育

D. 情報に関する技術

- (1) 情報通信ネットワークと情報モラル
- (2) デジタル作品の設計・製作
- (3) プログラムによる計測・制御
- (4) 著作権、知的財産権

☆本校ではこれらの目標を次の「学習計画」「評価の観点・評価の方法」をもとに達成を目指します。

	評価の観点	評価の方法
① 知識・技能	生活や社会で利用されている技術について理解していると共に、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解しているか評価します。	授業の取組状況 実習内容・課題提出 ペーパーテスト レポート作成 等
② 思考・判断・表現	生活や社会の中から技術に関わる問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けているか評価します。	授業の取組状況 実習内容・課題提出 ペーパーテスト レポート作成 等
③ 主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術に興味、関心をもって取り組んでいるか評価します。	授業の取組状況 ノートやレポート作成 自己評価・相互評価 等 実習内容・課題提出 ペーパーテスト 等

技術・家庭科（技術分野） 学習計画		
学年	学習内容	学習のねらい
1年	・ガイダンス ・材料と加工の技術 ・情報に関する技術 ・生物育成に関する技術	・技術科のねらいと授業がどんな内容で構成されるか確認する。 ・技術室の使い方や工具の基本的な使い方を学ぶ。 ・材料の性質について加工などの体験学習を通して学ぶ。 ・キャビネット図，等角図等、製図の書き方を学ぶ。 ・のこぎりやかんな，げんのうなどの工具の使い方を学ぶ。 ・目的に応じた製作品の製作を行う。 ・生活と技術の関わりについて考察していく。 ・コンピュータの構成と基本的な情報処理，情報通信ネットワークの基本的な情報利用の仕組みについて学ぶ。 ・デジタル作品を作る。 ・プレゼンテーション技法を養う。 ・著作権，肖像権，情報モラルについて学ぶ。 ・生物育成に関する技術と社会や環境との関わりについて学ぶ。 ・目的とする生物の育成を考え、生物の栽培について学ぶ。
2年	・エネルギー変換に関する技術 ・情報に関する技術	・生活に関わるエネルギーについて学ぶ。 ・エネルギーの変換方法や利用について学ぶ。 ・力の伝達の仕組みについて学ぶ。 ・電気回路の基礎や機器の基本的な仕組みを理解し， 保守点検と事故防止について学ぶ。 ・基本的な電子部品の役割について学ぶ。 ・エネルギー変換に関連した製作・実習を行う。 ・著作権，地底財産権，情報モラルについて学ぶ。 ・プログラミングの基礎を学ぶ。 ・デジタル作品を作る。 ・情報の取捨選択と加工，ネットワークについて学ぶ。
3年	・情報に関する技術	・著作権，肖像権について学ぶ。 ・プレゼンテーションについて学ぶ。 ・計測，制御の基本的な仕組みを知り，情報処理の手順を考え， 簡単なプログラムが作成できるように学ぶ。
<三年間の振り返り>		